



お話の学習指導案



教育目標

題名

・ ソニのとくべつな、いしのやま

年齢

・ ようじ(3~5さい)

主題

- ・ もくひょう：かねもちのだんなのこめをたいへんなきんじょのひとたちにわけてあげた、ソニのやさしさとちえについてまなぶ。
- ・ しゅだい：ちえ、わかちあい

キーワード

- ・ のうじ、こくもつ、こめ、どんぐり、いしころ、きん、かねもち、ちえ、わかちあい

韓国文化

- ・ もくひょう：だいかんみんこくのでんとうてきなどんぐりムクのつくりにかたとたべかたをしらべてみる。
- ・ ようそ：どんぐりムク(ムク：ゼラチン状のたべもの)

韓国語

- ・ もくひょう：いっかしょにつまれたむれをかぞえるたんい、またはこくもつやしおをかぞえるたんいについてしらべてみる。
- ・ たんご：무더기(やま)、더미(やま)、말(ことば)、섬(たわら)、가마니(かます)
- ・ ひょうげん：
돌을 모아서 돌무더기를 만들었어요.
(いしをあつめて、いしのやまをつくりました。)
쌀더미를 쌓아 놓았어요.
(こめのやまをつんでおきました。)
쌀 한 가마니만 빼놓았어요.
(こめひとかますだけ、とっておきました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
“ソニのとくべつな、いしのやま”です。

みなさん、いしのやまはいしころをつみあげたものをいいますね。おはなし
のしゅじんこうのソニは、おなかがすいているひとたちにこめをわけあってあ
げる、やさしいしょうじょです。あるひ、ソニがいしをひろって、いしのやまをつ
みあげたといいます。ソニはどうしていしのやまをつくったのか、おばあちゃ
んのおはなしをきいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“ソニのとくべつな、いしのやま”のおはなしのなかへしゅっぱつ！

♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんながたのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。 パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、あるむらに、よくばりなかねもちのだんながすんでいました。どれだけよくばりなのか、こくもつをつんでおいても、おなかがすいたひとに、こめひとつぶをあげることもありませんでした。それだけでなく、ほかのひとにこくもつをかしてあげると、ばいにしてかえしてもらいました。また、かしてあげたこくもつをかえしてもらえないと、とちまでもとっていくほどのよくばりだったのです。

おなじむらにすむソニのりょうしんも、かねもちのだんなにこめをかりました。あきになって、よくみのったこくもつをしゅうかくしました。しかし、かねもちのだんなにかりたものをかえしたら、すぐにたべるものがなくなってしまいました。ソニのりょうしんは、これからたべていくことをかんがえるとしんぱいになり、ためいきをつきました。

“はあ。どうすればいいのか。こめがひとつぶもなく、さむいふゆをどうやってすごせばいいんだ？”

そのすがたをみたやさしいソニは、どんぐりをあつめにやまにいきました。りょうしんにどんぐりムクをつくって、たべさせてあげたかったからです。

しげみのあいだをかきわけながらいっしょうけんめいにどんぐりをあつめたソニは、きいろくひかっている、いしをひとつみつけました。

“うあ。きらきらしていて、きれいないしだわ。いえにもってかえりましょう。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのよる、ソニはゆめのなかで、ながいしらがとしろいひげをはやしたおじいさんにあいました。おじいさんはソニにこういいました。

“ソニ、あしたからいしのやまをたかくつんで、そのてっぺんにきょうひろってきた、きいろいいしをのせておきなさい。そうすれば、いいことがおこるだろう。”

つぎのひから、ソニはゆめのなかのおじいさんがいったとおりに、いしをつみあげはじめました。いつのまにか、いしのやまがへいよりもたかくなると、ソニはいちばんてっぺんに、きらきらひかる、きいろいいしをのせておきました。

そのいっぽうで、こくもつをしゅうかくしおえたかねもちのだんなのにわには、こめが100たわらもつまれていました。

“ははは。こめのやまをみただけでも、おなかがいっぱいになるな。むらのひとびとが、どれだけしゅうかくしたのか、いちどみってみるか？”

かねもちのだんなはソニのいえをとおりすぎるところで、ソニがつみあげたいしのやまをみて、とてもおどろきました。

“あれはきんのやまではないか？あれだけのきんがあるなら、わたしよりもかねもちじゃないか？おや、まあ、おなかが。どうやったら、あれをぜんぶもっていけるのだろうか？”

口演 活動内容



お話を聞かせる

よくばりなかねもちのだんなのめには、いしのやまがきんのやまのように
みえたんですね。かねもちのだんなは、すぐにソニのいえにいきました。

“ソニのおとうさん、あなたのいえのうらにわにあるものなんだが、どこで
かったものなのだ？”

“あ、それはうちのソニが、どこからかいみもないいしをあつめてきて、たく
さんつみあげたものですよ。どれだけかたづけろといっても、いうことをき
かないんですよ。”

“ふむふむ。きんだとはしらないうだな…ふふふ！”

かねもちのだんなは、ソニのおとうさんにいいました。

“おまえのとこのあのいしのやまを、わたしのいえの100たわらとこうかん
するつもりはないか？”

“はい？なんですと？あの、いしのやまとですか？”

“わたしはきゅうにいしがひつようでしてね。どうか、おねがいだ。”

おとうさんとかねもちのだんなのやりとりをきいたソニは、かねもちのだん
ながおかしいとおもいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おじいさん、そしたらあのいしのやまと100たわらをかえるけいやくしょをかいてくれたら、あげますよ。”

“ああ、そんなこと。すぐにかこう。”

かねもちのだんなは、きんのやまをすべてもっていくかんがえで、けいやくしょをかきました。

“でも、こめをすべてわたしたら、いますぐたべるものがないから、いちばんてっぺんにあるひとたわらだけをもらっておこう。”

“そうしてください。そしたらわたしたちも、てっぺんにあるいしをひとつだけをとっておきますね。”

そして、むらのひとびとがてっだって来て、いしのやまとこめの100たわらをこうかんしました。

ところで、これはどうしたことでしょうか？うれしいきもちでいえにかえたかねもちのだんなは、そこでとてもおどろいて、たおれそうになりました。

“いや、こんなことが？これはきんのやまではなく、ただのいしじゃないか？”

口演 活動内容



お話を聞かせる

てっぺんにあったきらきらしたきいろのいしのせいで、ほかのいしまでもきんいろのようにみえたんですね。とてもおこったかねもちのだんなは、ソニのいえにはしっていきました。

“ちょっと、ソニのおとうさん。このはなしはなかったことにしよう。わたしがまちがっていたから、100たわらをかえしてくれ。”

よくばりのだんながソニのいえにいて、こめをかえしてくれともんくをいいました。

“それはだめです。ここで、こういうふうにけいやくしょをおかきになりましたよね？”

ソニのことは、かねもちのだんなはなにもできずに、いえにふらふらとかえっていいきました。

かねもちのだんながかえたあと、ソニがおとうさんにいいました。

“おとうさん、このこめはもともとわたしたちのものではないから、むらのひとびとにわけてあげてはどうですか？みんな、かねもちのだんなにこめをとられて、たいへんではないですか。”

“そうだな、そうしよう。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

むらのひとびとは、ソニのやさしいところとちえをほめました。そのあと、このむらのひとびとは、たべるものができると、おたがいにわけあってたべて、なかよくすごしました。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？かねもちのだんながソニのいしのやまをみて、100たわらとかえようといいました。なぜでしょう？

そうですね。かねもちのだんなは、ソニのいしのやまがきらきらひかっている、きんにみえました。だから、もっとおおくのおかねがほしくて、こめの100たわらとかえようと思いました。みなさんは、おこめをかぞえるたんいをしていきますか？じつは、こめのひとかますは80キログラムで、おとなひとりのたいじゅうほど、おもたいのです。こめひとたわらはほとんどこめ2かますです。だから、こめ、100たわらは200かますになるので、こめがとてもたくさんあったのですね。

みなさん、ころやさしいソニは、どんぐりをひろいにやまにいきました。りょうしんに、どんなりょうりをつくろうとしたのですか？

はい、どんぐりムクですね。みなさんは、どんぐりムクをたべたことはありますか？どんぐりムクは、どんぐりをきれいにむいて、そのこなをゆでて、さましたものをかためたものです。どんぐりムクはすこししぶいあじがしますが、からだにとってもよいです。どんぐりムクでつくったりょうりには、どんぐりムクのあえもの、どんぐりムクごはんなどがあります。みなさんも、どんぐりムクをたべることがあれば、いちどたべてみてください。どんぐりムクにきょうみがあるおともだちは‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“ソニのとくべつな、いしのやま”のおはなしをいちどまとめてみましょうか？

かねもちのだんなは、ソニのいしのやまがすべてきんのやまだとおもって、よくばりになりました。いしのやまのてっぺんにあった、きらきらしたきいろのいしのせいで、ほかのいしもすべてきんいろにみえたんですね。いしのやまと100たわらをこうかんしようとする、かねもちのだんなのことばに、ソニはけいやくしょをかいて、こめをもらうことになりました。こめはたいへんなむらのひとびととまんべんなくわけあいました。ソニのあたたかいこころづかいのおかげで、むらのひとびとはなかのいいごきんじょさんになりました。みなさんもおたがいにあたたかいこころをわかちあって、なかよくすごしましょう。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！